


事例No.9 獣害対策の罠の自動制御・監視・遠隔操作

事業所名 企業名	株式会社アイエスイー 公式ホームページ： http://www.ise-hp.com/				
所在地	伊勢市	従業員数	9名	産業分類	電子部品・デバイス・ 電子回路製造業

【事例の詳細】

機能	自動制御・監視・遠隔操作 利用者間のチャット交信	使用 機器等	センサー・カメラ・太陽光パネル スマートフォン・PC
取組 内容	<p>電子回路などを製造販売している当社では、獣害対策の罠のシステムとして、罠の扉を自動制御できる「アニマルセンサー2」や、赤外線カメラで遠隔監視をしつつ罠の扉を遠隔操作できる「クラウドまるみえホカクン」などを提供しています。</p>  <p>赤外線カメラによる遠隔監視・遠隔操作で効果的に捕獲</p>		
導入 プロセス	<p>もともと電子回路やセンサー、ソフト開発などを手掛けてきました。社長が趣味で罠猟を行っていましたが、罠猟は捕獲効率が高くなく、事業のノウハウを活かすことができないかを検討して自動制御の「アニマルセンサー」を開発しました。</p> <p>三重県農業研究所にこのセンサーを持ち込んだところ、研究員の山端さんの目に留まり、山端さんと交流があった鳥羽商船高等専門学校の江崎先生も交えて、獣害対策への活用を共同研究することになりました。この研究は「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」の研究助成金を得て、カメラによる監視と遠隔操作、クラウドによる相互利用を可能にした「クラウドまるみえホカクン」を開発しました。クラウドの運用管理については株式会社コムデック社（伊勢市）に参加いただくなど、多くの団体・企業にご協力いただいています。</p> <p>「アニマルセンサー」も捕獲対象ではない小動物まで捕獲してしまう短所がありました。距離センサーで対象動物の捕獲成功率を高めた「アニマルセンサー2」に改良し、捕獲を知らせるメール送付機能も付加しました。</p>		
成果 効果	<p>山端さん、江崎先生との共同研究でより良いシステムに成長し、全国の獣害対策に役立てていただいています。農林水産省などにも認められ、多くのプロジェクトへの参加や助成を受けることができました。全国のフォーラムやセミナーでも取り上げていただき、問合せが増加しました。</p> <p>当初2名の会社でしたが、対応力を向上させるために現在は9名まで増員しました。何より山端さん、江崎先生との出会いによって、システム開発や販売だけでなく、獣害対策が必要な地域で結果が出るまでトータルで関わることができるようになったことや、いろいろな方との出会いとそのネットワークが財産になったと考えています。</p>		

【取組みの狙い】

企業ブランドの強化	品質向上	従業員の成長サポート
独自性・独創性の創造・強化	付加価値の創造・強化	労働環境の改善
商圏・販売チャネル・新規顧客の拡大・開拓	生産・業務効率の向上	勤怠管理の効率化
顧客満足度の向上	生産・業務プロセスの改善	その他
価値・品質の見える化	情報管理の効率化	